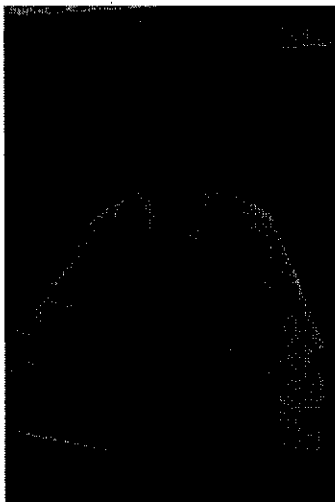


下條村の伊藤喜平村長にベスト・ファーザー賞

05/12 11:26



下條村の伊藤喜平村長が、6月3日の「父の日」に発表される2008年ベスト・ファーザーイエローリボン賞(社団法人日本メンズファッション協会、FDC日本ファザーズデイ委員会主催)に推挙されたことが明らかになった。

「ベスト・ファーザー」の選出・発表は、父の日黄色いリボンキャンペーンの中心行事として1982年から始まり、例年、父の日の話題作りに大きく貢献している。

政治、経済、学術、文化、芸能、スポーツの各界からアンケート結果をもとに受賞者を選出。過去の受賞者にはカルロス・ゴーン日産自動車社長(01年)、片山善博鳥取県知事(05年)、御手洗富士夫キヤノン社長(同年)など数多くの著名人が選ばれている(肩書きはいずれも当時)。

書きはいずれも当時)。

伊藤村長は政治部門で推挙された。同部門では内閣総理大臣や国会議員、県知事、政令指定都市の首長などの選出例があるが、町村長では初の受賞となる。

有名な観光名所や産業がない下條村にあって、ユニークな政策により健全財政の確立や出生率の向上、若年人口増加を実現した「村の父親」の面を評価。「子どもが増える奇跡の村のおとうさん」として紹介される予定だ。

伊藤村長は「村民の皆さんが一丸となって努力してきたことが評価された」と受け止め、「小さな村の取り組みがこうして全国に紹介されることで、村の皆さんに勇気を持ってもらえると思う。賞の名に恥じないよう頑張っていきたい」と語っていた。

ベスト・ファーザーイエローリボン賞の発表・授賞式は6月3日、東京都港区のグランドプリンスホテル高輪で開催。報道関係への個別インタビューやパーティーなども行われる。

写真=ベストファーザーに推挙された伊藤村長
スポンサーリンク

(日本列島ふるさと新聞 HP より)

ベスト・ファーザー イエローリボン賞は『素敵なお父さん』とされた著名人に贈られる賞。マスコミ各社、FDC評議員、今までのイエローリボン賞受賞者、MFUの会員によるアンケート結果をもとにベスト・ファーザー選考委員会によって決定される。